



発行者 〒277-0921 柏市大津ヶ丘3-4-1-101
社会福祉法人よつば 理事長 勝本 正實
電話 04-7199-7931
URL <http://www.kashiwa-yotsuba.jp/>

ご挨拶

既に、新型コロナウイルスの感染が私たちの生活に、大きな影響をもたらして、8か月を経過しています。「新しい日常生活」も定着しつつありますが、私たちの法人の利用者の方たちや職員も、漠然とした不安の中で過ごさざるを得ない状況です。せめて、外部イベントやお楽しみ会が再開され、交流が広がってくれることを待ち望んでいます。法人内の研修会や家族会の講演会は、感染防止の方策を講じながら再開されています。来年早々を目指して、法人主催の市民向け「啓発講演会」の準備にこれから取り掛かります。法人の理事会を11月20日金曜に予定しています。今回は、①社労士を顧問に迎えること、②今年度前期の業務と会計報告、③今年度の決算見通しと来年度の計画の確認などが議題となる予定です。

☆共同生活援助「クローバーハウス」

今回は、千葉市中央区にある外部委託型のグループホーム「クローバーハウス」のことを紹介します。

クローバーハウスは、千葉市の蘇我駅からバスで10分、内房線沿いの閑静な場所にある障害者の住まいです。法人よつばの中では、唯一の柏市外の事業所です。私たちは、自由な雰囲気大切にしています。利用者の方たちには仲間との助け合いをしながら、なりたい自分を目指してほしいと願っています。定員は18名で、各部屋3名で利用していただいています。4名の世話人・支援員が、必要なことを一緒に考えながらサポートしていきます。グループホームのおすすめポイントはたくさんありますが、今回は3点に絞って紹介します。

1 外部とのつながり

利用者の方の平均年齢はおよそ57歳です。皆さんお元気に過ごされています。週2回以上、デイケアなどの日中活動に参加しています。必要な方は外部の居宅サービスも受けることが出来ます。

2 夕食がおいしい

食事の利用は、平日の夕食のみとなっています。料理好きの世話人が腕を振ります。味付け、ボリューム共に、皆さんから喜ばれています。

3 イベントがたくさん

イベントの充実ぶりは、県内でも誇れるものと思っています。新春祭、サマーフェスティバル、クリスタルクリスマスの三大祭のほか、花見祭りや月見祭りなどの季節ごとの行

事をも毎月行っています。

クローバーハウスでは、「ショートステイ」の受け入れも実施しています。現在は男性のみですが、希望があれば女性の受け入れも準備中です。ちょっとした気分転換に、柏市地区からでもご利用は可能です。入居もショートも見学は随時受け付けています。

就労継続B型「よつば工房」には、**現在定員の空きが、数名分あります。**見学や体験利用などの問い合わせは、**04-7133-3046**までお願いします。



☆体験談・柏市在住インタビュー Aさん

① 発症した頃のこと

大学卒業後に企業に就職しましたが、過労で体調を崩し、自律神経失調症と診断を受け、2年ほどで退職しました。その後同業種で再就職しましたが、間もなく精神科に入院することになり、その職場も解雇となりました。今振り返ると、激務に加えて上司などからのハラスメントがあり、私は余暇や睡眠時間も十分に取れない生活を送っていたため、発症してしまったのかと思います。

② 福祉との関わり

30歳後半になったころ、ハローワークの専門援助部門を訪れ、数か所の福祉施設を紹介していただきました。それまでは福祉施設を利用できること自体を知らなかったのですが、親身になって説明していただき、ピアヘルパー養成講座を受講できる施設を利用することにしました

。そこでヘルパー2級を取得し、その後6年間児童の移動支援の仕事につきました。また仕事で頑張れるのだという自信につながりました。

③ クローバ柏（地活Ⅲ型）の利用

就労継続支援A型事業所に勤務しているときに、調子を崩してしまい、柏市役所の障害福祉課で、クローバ柏を紹介していただきました。今では生活のリズムを作りつつ、今後どんな社会生活をして行くのかを考える期間の大切な居場所として、週3~4日、クローバ柏に通っています。

④ 今、楽しみにしていること

調子のよい時に限られますが、柏市のラーメン店巡りをしたり、友人と会ったりすることが楽しみです。障害と向き合いながら、生まれ育った柏で暮らしていけることありがたいことだと思っています。



☆家族の想い・柏市のIさん（インタビュー）

① 発病は小学生のころ

きっかけは私の子どもが小学生の頃でした。普段から一人遊びが多く、性格はマイペースでした。もともと人間関係は苦手でしたが、「学校に行きたくない」と言い出したことで心配が始まりました。高学年になるといじめを受けたり、仲間はずれにあっていました。自分の気持ちを素直に言えず、担任の先生にも相談しましたが、解決しませんでした。中学生になったとき、イライラすると家庭内で暴言を吐いたり、親に反抗的になりました。思いつめて、児童相談所や保健所に相談をしました。結果精神科を受診して、統合失調症と言われ、服薬するようになりました。

② 戸惑いと悩み続けた十数年

結局、高校進学は断念しました。本人が苦しんでいたため、家庭で穏やかに過ごせることを優先しました。家庭にいれば、何から何まで、私たちがすることになるため、生活保護を受けることで、一人暮らしを家の近くで始めることにしました。子どもはヘルパーに来て頂いたり、訪問看護を受けることが出来ました。これは幸いでした。

それでも調子が悪いときは、家族に怒りをぶつけることもあります。最近、自閉スペクトラム症も重複していると先生に言われています。聞い

たときは不思議と納得できました。

③ 行政から家族会を紹介されて

子どものことは、私の兄弟や友人には今でも話せていません。ですから、話せる相談先が欲しくて、行政に相談しました。そうしたら「よつば会」があることを紹介されました。知った人がいないかと心配しながらの参加でしたが、取り越し苦労もなく、今では安心して通っています。仕事を持っていますので、いつでも参加できるわけではありませんが、同じ境遇の方がいることは、落ち着きます。

④ 心配はまだ続くものの

私の子どもはまだ若いので、これからの生活が心配です。兄弟には負担をかけたくありません。兄弟は距離を取って近づきませんが、心配はしています。現在一番の望みは、どこかの作業所やデイケアに行けるようになって、友達を見つけてくれることです。相変わらず、人間関係が苦手なので、合わせてくれる人でないと続きません。私たちもできるだけ長生きして、子どもの行く末を見守りたいと思います。

☆精神障害者家族会よつば会 定例会の紹介 (問い合わせ 04-7199-3645)

<柏部会>

- ・11月28日土曜 12時45分から
- ・パレット柏 3階ミーティングルームD

<我孫子部会>

- ・当面、コロナの関係で、会場が閉鎖されているため柏部会に合流します

<流山部会>

- ・11月27日金曜 10時から
- ・初石公民館・会義室にて

<発達障害者家族会・ひまわりの会>

★10月の定例会

- ・10月10日（土曜）午後1時から
- ・初石公民館 1階の講義室

なお、9月に開かれた肥田先生を迎えての「発達障害を知る講演会」には、40名ほどの方が来てくださいました。今後の問い合わせ・勝本（090-3696-1589）

